

\*\*\*\*\*

# 昭和こじょう会便り

37号

\*\*\*\*\*

2004年9月 一行事特集号一



子供たちの土鈴絵付け風景—第22回昭和区福祉まつり—

### —目次—

37号発行に当たって	2頁	活動レポート	3頁
活動計画	7頁	生き生き熟年	9頁
投稿	11頁	クラブ便り	13頁
投句	15頁	編集後記	16頁

発行：名古屋市高年大学鯉城学園—昭和鯉城会

## 37号－行事特集号－発行にあたって

酷暑の夏も去り、ようやく秋の訪れが感じられるようになった途端、相次ぐ台風や地震で不安な日々が続きましたが、昭和鯨城会の会員の皆様お元気にお過ごしでしょうか。

昭和こじょう会便り37号をお届けします。

今回は8月29日に実施されました協賛行事「福祉祭り」を始め夏の行事のレポート、そして年度後半の様々な行事計画のお知らせを中心に、行事特集として編集しました。

これからの行事計画としては、9月の「作品展」、10月の「清洲散策」と「区民まつり」、11月の「常滑散策」等盛りだくさんです。詳細は同封のチラシをご覧ください。

いずれも楽しい企画ですので、会員多数の皆様のご参加をお待ちしております。

平成16年9月  
昭和鯨城会  
会長 境野 紘

# 活動結果報告

---

---

## <平成16年7月～9月の主な活動>

今年7月～9月の主な会の活動は次の通りです。

### ◆ 会議

- 7月 2日(金) 鯨城会区会代表者会議出席(会長)
- 7月15日(木) 7月度役員会
- 7月18日(日) 福祉まつりシンポジウム出席(会長)
- 8月 6日(金) 8月度役員会
- 8月 7日(土) 福祉まつり実行委員会出席(会長、辻副会長、松尾行事委員長)
- 8月 9日(月) 鯨城会代議員会議出席(会長)
- 9月16日(木) 9月度役員会
- 9月16日(木) 鯨城会広報研究会出席(会長)

### ◆ 行事

- 7月 20日(火) アサヒビール名古屋工場見学会
- 8月 29日(日) 福祉まつり
- 9月 14日(火) 浜名湖花博見学バス旅行

### ◆ その他

- 7月16日(金) 作品展関係応募資料作成(生涯学習センター)
- 8月24日(火) 福祉まつり準備(ライトハウス)
- 9月15日(水) 「昭和こじょう会便り」37号印刷、配布



### アサヒビール名古屋工場見学会

横井 益穂(17 国際)

7月の行事として7月20日(火)アサヒビール名古屋工場見学会が行われた。特に猛暑の中、申込者40数名中、参加者23名。他区会の女性会員の方(3名)の参加に脱帽。

暑さの中冷たいビールを期待し、アサヒビール名古屋工場に到着、10時45分工場見学開始、先ず目の前の巨大な銀色の発酵熟成タンクに驚かされる、このタンク1個で年間約5.8億本(大瓶換算)のビールが生産されるとの事、すごい量である。日本全体の生産量はこの何倍になるのか、良く飲むものである。

さて、美人のガイド中村さんの案内で見学開始。ビールの製造工程をガラス越しに見学する。

空き缶、空き瓶が流れ、ビールが注がれ、蓋をし、パッケージされ、ハイ『出来上がり』。全自動化された工程から面白いように製品ができる。缶ビール(350ml)なら1秒当たりなんと20本の想像を超えた生産スピード!!

この工場は敷地面積約172,000平方メートルの大きな工場だが、わずか250名程度の人手で操業されていると説明を受ける。そう言われてみれば、働く人の姿を余り見かけない。機械化された工場とはこの様な少々味気ない空間に思われた。

さて、見学を終え、いよいよゲストハウスで、冷えたスーパードライと『富士山』の試飲の時間になった。サーバーから注がれる琥珀色のビール、きれいに磨かれたグラス、参加者の顔が自然にほころび、一杯、二杯とのお酒をうるおす。場の雰囲気も次第に和やかになり、談笑が続く。試飲時間の早く過ぎること、“あともう一杯”との思いに引かれつつ、見学会を終えた。楽しいひと時であった。



## 第 22 回昭和区福祉まつりに参加して

昭和鯨城会会長 境野 紘

8月29日(日)区の恒例の行事『福祉まつり』が昭和区役所で開催されました。私たち昭和鯨城会も協賛団体として、いつものように、土鈴の絵付けと会員有志の厚意の寄贈陶芸作品のチャリティー販売を行いました。

前日の準備と当日の販売を含め、総勢10名の役員で私たちの協賛行事を行いました。台風16号の影響でしょうか、昼近くには生憎の雨模様となり、しかもむしむしする暑さの中での仕事でしたが、皆澁刺と絵付けの制作の手伝いなどをこなしました。

土鈴の絵付けは、昨年から今年にかけて会員有志で制作した素焼きの土鈴(制作に当たっては5期の陶芸学科卒廣江昭二さんに、制作場所のお世話とか焼き上げ等何かとお世話になりました。どうもありがとうございました)に色々なポスターカラーで好きな様に絵付けをしてもらおうのですが、子供たち(特に女の子)に人気があり、常に4-5人のお客さんが居て、結構にぎやかでした。合計で40-50個売れました。お手伝いをした私たちも楽しいやら、忙しいやらで、いつの間にか時間が過ぎていきました。

純真で無邪気な子供たちのデザインとか色使いは、大人には思いもよらない斬新さがあり、とても感心させられます。中には将来の芸術家も居るかも知れませんね。

さて、会員有志の方の寄贈品の方ですが、これも来場者の関心を引いていました。今回持ち込んで陳列した数は約60個程度でしたが、いずれも素晴らしい労作ばかりで、半数以上捌けました。寄贈頂きました会員の方には、会を代表して、心より御礼もうしあげます。

そんなわけで、今回の福祉まつりは私たち昭和鯨城会にとってまずまずの成果をあげる事ができました。売上(全額社会福祉団体に寄付)も概ね予測通りで、応援、参観に駆けつけて下さいました会員の方々、他、準備、運営に携わった関係者の皆さんに改めて御礼申し上げます。

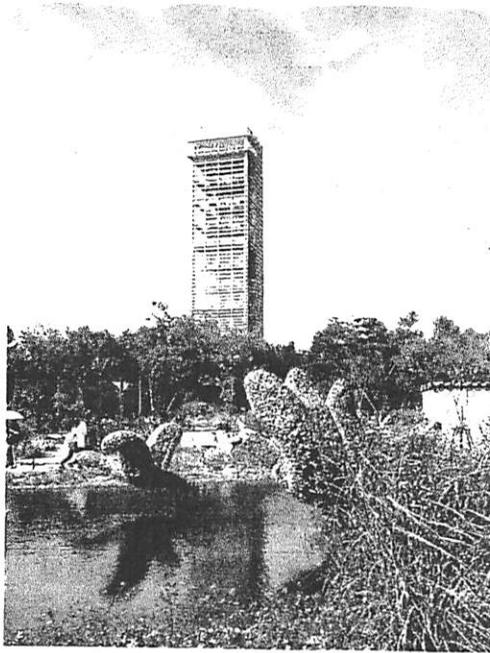
## 浜名湖花博見学会

7月の開園以来9月初旬で既に入場者数が400万人を突破したという人気の浜名湖花博へ、9月14日(火)、会員24名バスで行って来ました。

名鉄観光手配のバスは幸い私たち専用で、行きも帰りも、車内はにぎやかで和気藹々、笑いが絶えませんでした。

バスは東名高速道路を東へひた走り、途中交通事故に出会い30分程遅れましたが、花博会場に11時頃到着。お天気は快晴、真夏のような残暑の厳しい日でした。

終盤を迎えた花博でしたが、園内は、厳しい暑さにも関わらず、中高年を中心に多くの見学者でにぎわっていました。素晴らしい園芸の粋を集めた花博を、参加者全員暑さをものともせず満喫しました。たまたまの“ちび玉舞踊ショー”も愉しめました。



きらめきタワー(待ち時間3時間)

- 花博の客を迎える胡蝶蘭
- 睡蓮の池に架かるや太鼓橋
- 水澄めり浮き世絵飾るモネの家
- 秋色やモネの黄色の台所

石橋 正雄(十七環境)

## これからの活動計画

9月から11月までの行事予定をお知らせします。

詳細も決まっておりますので、下記の情報と同封のチラシをご覧の上、是非ご参加下さい。参加はいずれも自由で、事前予約の必要はありません。

9月23日(木) - 25日(土)	昭和鯨城会第2回作品展(ふれあいポケット 御器所ギャラリー)	
10月10日(日)	区民まつり(鶴舞公園)	
10月15日(金)	清洲	清洲城見学と付近散策。 終了後希望者でキリンビ ール名古屋工場見学。
*11月19日(金)	常滑	せともの散歩道など、常 滑市内を散策

\*当初計画から日程が変更されています。

### ◆ 第2回昭和鯨城会作品展(9月23/25日)

昨年に引き続き、9月23日から25日までの3日間、2回目の会員の作品展を、昨年と同じ場所の御器所ギャラリーで開催します。

会員有志の意欲的な作品が多数、多岐に渡り出品されます。是非ご鑑賞下さい。

詳細は、同封のチラシをご覧ください。

### ◆ 協賛行事「区民まつり」(10月10日)

10月10日(日)に区の主催による恒例の区民まつりが鶴舞公園で開催されます(雨天の場合は翌日の10月11日に順延)。

当会はこの催しに協賛して、福祉まつり同様、土鈴の絵付けと会員有志の厚意の寄贈陶芸作品のチャリティー販売を行います。是非お越し下さい。詳細は本誌同封のチラシをご覧ください。

### ◆ 清洲散策(10月15日)

10月15日(金)信長ゆかりの清洲の散策と終了後に希望者で近くのキリンビール名古屋工場の見学を行います。企画の概要は次の通りです。

- \* 集合場所と時刻:  
名鉄本線「新清洲」駅前(東側)に各自09:50までに
- \* 行程:  
出発(10:00)一日吉神社参拝—清洲城見学—解散(12:00)  
(希望者のみ引き続き) キリンビール名古屋工場見学
- \* 交通(行き): 新岐阜方面行き名鉄電車(急行)で新清洲下車
- \* 費用: 名鉄運賃片道(新名古屋—新清洲) 230円  
清洲城入場料: 300円
- \* 昼食: 任意(弁当持参も可)
- \* 備考: 荒天の際は中止しますが、小雨決行します。

キリンビール見学を含めた全行程約1万歩のさわやかウォーキングです。参加の事前予約は不要です。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

### ◆ 常滑散策(11月19日)

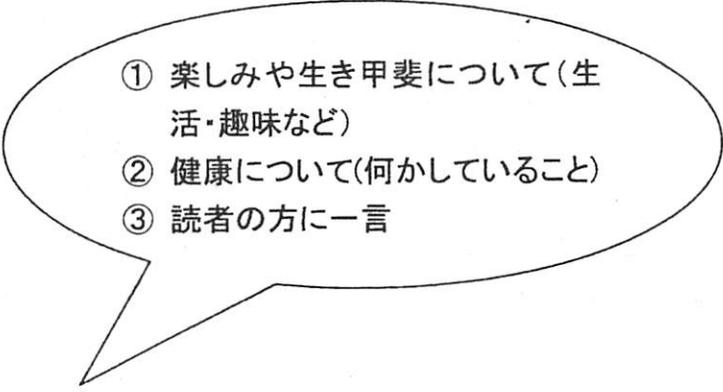
11月19日(金)に常滑“せとの散歩道”の散策を案内ボランティアのガイドで実行します。

この企画の概要は次の通りですが、詳細は同封のチラシをご覧ください。この企画も参加の事前予約は不要です。

- \* 集合場所と時刻:名鉄常滑駅前に午前10:00までに各自集合
- \* プログラム: やきもの散歩道散策(1.5km、約90分)
- \* ルート: 名鉄常滑駅→常滑市陶磁器会館(出発点)→廻船問屋瀧田家→土管坂→常滑市登窯広場・展示工房館→登窯→一木橋→常滑市陶磁器会館
- \* 費用: 名鉄運賃片道(新名古屋—常滑) 650円
- \* 昼食: 任意
- \* 備考: 荒天の際は中止しますが、小雨決行します。



## お元気な会員の近況をご紹介します。

- 
- ① 楽しみや生き甲斐について(生活・趣味など)
  - ② 健康について(何かしていること)
  - ③ 読者の方に一言

### 4期生活 B 学科卒 岩田 鈞次さん(伊勝学区) 大正9年生まれ

- ① 毎日を友として、健康で、食事も美味しく、酒も美味しくと心掛けています◆素人仕事ながら、庭木の手入れ、水撒きも少々しています。
- ② イ 月 3 回程、高齢者仲間の軽スポーツ、インディアカに参加しています。  
ロ 食事は野菜を多く食べるように心掛けています。  
ハ 介護保険要介護1に認定され、家事援助を受けています。
- ③ 悲しみも、喜びも、人の一生と自分に云い聞かせております。

### 4期生活 A 学科卒 伊藤 弘さん(吹上学区) 大正12年生まれ

- ① ◆常に前向きがモットーです◆よき友を得て、今でも互いに連絡しあい、遊びに旅にと楽しんでいきます◆又、年長者や先輩の方の話を聞き、明るく生きていることに感謝しています。
- ② ◆歳とともに食が細くなり、旨いからと言って多くを食べず、無理はしません◆自分のリズムは守るようして、特に夏場は十分な水と睡眠を取るようになっています◆好きな時間を出来るだけ持つようにも心掛けています。
- ③ 笑って挨拶。人格の尊重。

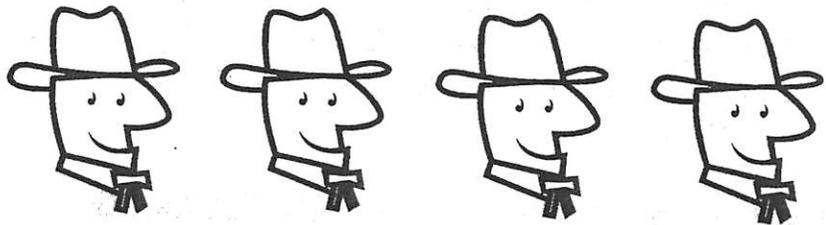
### 4期文化 A 学科卒 伊藤 秀雄さん(吹上学区) 大正14年生まれ

- ① ◆学園の卒業生が参加する「こじょう混声合唱団」に参加しています。練習日は蛮声を張り上げていますが、いつもその日を待ち遠しく思っています◆グラウンドゴルフも発足時より参加しています。成果は可もなく不可もなくですが、でも知らず知らずに足腰が軽くなったようです。

- ② ◆粗食で育ったせいか、雑食主義です。その為か、到って胃腸は健全です◆  
体重は 60 年前と変わりません。
- ③ ◆孤独は好むと好まざるに係わらず一度は通る道です◆新聞を読むのも世の  
変化を知る上で参考になります◆詩吟を吟じ、作詞もしていますが、発声は健  
康の元です。

## 12 期地域学科卒 川口 保さん(川原学区) 昭和 5 年生

- ① ◆鯨城学園・昭和鯨城会・12 期地域会・歩いて知ろう O/B 会、出身校の同期  
会・同窓会、会社の OB 会などに積極的に出席。旧交を温めると共に情報交換  
◆”JR 青春 18 切符“などを利用の「ゆっくり・のんびり旅」…特急では味わえな  
い車窓からの眺望、閑散とした駅での途中下車など◆息子・娘・孫との交流。  
息子と孫は月 2〜3 回は来宅宿泊。楽しさと生き甲斐を満喫(ジジ馬鹿も生き甲  
斐)。
- ② \*体力保持…○毎朝 5 時起床;往復 6km(途中 100 余段の階段・上り下りの  
坂道あり)ウォーキングとラジオ体操、昭和鯨城会リズム体操  
(月 4 回)○“3 乗らない”…出来るだけマイカー、エスカレー  
ター、エレベーターには乗らない。
- \*睡眠……十分に(疲労は溜めない)
- \*食事……好き嫌いなく何でも食べる。薄味。腹 8 分目
- \*煙草・酒……初孫の誕生を機に禁煙、ビールはコップ 1 杯
- \*ボケ防止…自宅に引き籠もり、社会とのお付き合いが無くなるのは駄目
- ③ ◆自分自身にあった方法を見つけて、これを継続。三日坊主は駄目◆禁煙◆  
酒は適度に◆よくよせずにストレス解消



## 万葉集と愛知県

永田 裕千(17文化B)

万葉集は20巻4, 500余首からなる和歌集である。主に7～8世紀を生きた人々の声そのまま聞えてくる。ここでは愛知県で詠まれたとされる(異説はあるが)歌について述べてみたい。

桜田へ <sup>たづ</sup>鶴鳴き渡る <sup>あゆちがた</sup>年魚市潟

潮干にけらし 鶴鳴き渡る

(3・二七一) 高市 黒人

(桜田の方へ鶴が鳴き渡って行く。年魚市潟は潮が引いたに違いない。  
鶴が鳴き渡っていく)

愛知県の県名の語源となった年魚市潟を詠ったこの歌は、万葉集の中でも良く知られた歌である。

持統天皇が大宝2年(702)に三河国に行幸された帰途、現在の名鉄本線桜駅近辺にて、随行した高市黒人が太陽暦12月10日前後に詠んだとされる。「年魚市潟」は熱田台地と鳴海台地を含む沿岸の潟とかなり広くとらえられている説が有力である(地形は今とは大分違っているが)。尚この歌碑は桜近辺に3箇所ある。地下鉄桜本町下車、南へ700m程の村上社と、直ぐ近くの八幡社に、そして名鉄線を挟んで西側の白毫寺境内崖上にある。

年魚市潟 潮干にけらし 知多の浦に

朝漕ぐ舟も 沖に寄る見ゆ

(7・一一六三) 作者不明

(年魚市潟は潮干になったに違いない。知多の浦で朝漕ぐ舟も沖に寄っているのが見えることよ)

「年魚市潟」を詠んだもう一首である。知多の浦は東海市高横須賀町の近くとする説有力で、歌碑も同市諏訪神社にある。

おはりだ あゆち  
小治田の年魚道の水を 間なくそ 人は汲むといふ 時じくそ 人は飲  
むといふ 汲む人の 間なきがごとく 飲む人の 時じきがごと 我妹子  
に 我が恋ふらくは 止む時もなし

(13・三二六〇) 作者不明

(小治田の年魚道の水を、絶え間なく人は飲むという。時の別なく人は飲むという。汲む人の絶え間が無いように、飲む人の時の別が無いように、いとしい人に私が恋焦がれることは止む時も無い)

「桜田へ……」と併せ、名古屋市内の有名な万葉集とされているが、小治田は「推古天皇の小墾田宮のあった所」という大和説もある。歌碑は瑞穂運動場北入退場門の東100m程の所に、古井戸と共に庭園風に造られている。

尾張地方では上記三首のほかに東海市上野町、師崎近くの豊浜、篠島の計6首を見ることが出来る。又、三河地方では10首と一般的には云われている。多くは歌碑が建てられているが、まったく見当たらないものもある。当該地は是非訪ねてみたい。



### 原稿募集と 情報提供依頼

旅行・趣味・短歌・俳句・随想・その他どんな話題でもかまいません。会員の皆さん、原稿をお寄せ下さい。又、身近な情報もお寄せ下さい。特に会員の慶弔情報は是非お知らせ下さい。

連絡先: 境野 紘

tel/fax: 052-833-6617

e-mail: [sakainoh@ybb.ne.jp](mailto:sakainoh@ybb.ne.jp)

又は他の役員誰でも構いません。

# クラブ便り

## グラウンド・ゴルフニュース

15期(地域) 吉村 卓次

16年度、4月～7月(8月3日含む)は4月6日の競技日から始まり今年  
は好天に恵まれ雨天中止は3日間のみで、練習日を含めて14日間ラウンドを  
行い(8月は夏休み)、合計参加者は延べ244名(内、昭和鯉城会員)は136  
名)でした。

下表:1にストレス解消効果満点のホールインワンのホール別回数を纏めて  
見ました。9月7日から冬休みまで15日間のラウンドでは、目標を定めてホ  
ールインワンを狙ってください。初心者の参加を歓迎します。

ホール別ホールインワン 表:1

ホール(番)	1	2	3	4	5	6	7	8
コースの距離(m)	30	50	30	50	25	15	25	15
ホールインワン回数	6	1	2	0	8	20	9	28

9月～12月グラウンド・ゴルフ開催予定表 表:2

	競技日	練習日	競技日	練習日
9月度	7日	14日	21日	28日
10月度	5日	12日	19日	26日
11月度	2日	9日	16日	30日
12月度	7日	14日	21日	冬休み

☆競技場: 吹上インター高架下⑩ミニスポーツ広場(花田公園信号を渡る)

☆プレー開始時間: 午前10時

### お知らせ

恒例の名東鯉城会と昭和鯉城会との平成16年度親睦  
グラウンド・ゴルフ大会の日程が決まりました。  
多数のご参加をお願いします。

日時: 11月5日(金)午前9時30分より  
会場: 名東区本郷公園内 東広場  
詳細は、当誌の折込チラシをご参照下さい。

## リズム体操クラブ

### リズム体操クラブの近況

代表 近藤 勇雄(14園)

リズム体操クラブの運営はきわめて順調ですが、その中でも少しずつ前向きな取り組みを考えながら進めています。その前に恒例になってきました夏の親睦行事ですが、体操で汗をかいた後のビール1杯と言う趣向で、7月28日(水)近くの浩養園でパーティーを行いました。出席人員80人で、西川、大塚先生も参加され盛会でした。この席で7期の西出栄次郎氏に得意のマジックを披露していただき改めてお礼を申し上げます。

さて前向きの取り組みと申し上げましたのは、平成17年2月20日愛知県体育館で日本体操協会主催の体操発表会が行われます。西川先生から出場者の確認依頼ありましたので、小生早速全員にアンケートを配布し、参加の可否について意見を集約しました。その結果出場する人30%、出場しない人30%、クラブの決定に従う人40%でした。当クラブも来年3周年ですし、先生も出場を希望しておられますので、クラブとしては出場することに決めました。既にエメラルドグリーン色のTシャツに「SHOWA」のネームを入れ、大会用を作製し、全員に配布しました。これから少しずつ訓練に入ります。大会の詳細は未定ですが、決まり次第次号でご案内しますので、体育館に応援に来てください。

なおクラブの練習日程(平成16年10月—平成17年3月)が決まりましたのでご案内します。いずれも水曜日午後1時30分からです。

#### 記

平成16年10月	6日	13日	20日	27日	
11月		10日	17日	24日	
12月	1日	8日	15日	22日	
平成17年1月	5日	12日	19日	26日	
2月	2日	9日	16日	23日	
3月	2日	9日	16日	23日	30日

投句

十七期

(文化B) 近藤 里美

鴉匠の出



- 。落陽は陸のかがり火鴉飼待つ
- 。通り雨過ぎてきりりと鴉匠の出
- 。鴉の川にまぎ合掌し鴉舟出す
- 。棹を櫓に変へこぐ鴉舟水迅し
- 。奥美濃の鴉川が拘ふ十三夜
- 。鴉の川の闇に篝の朱がささる
- 。逸り鴉の飛末に観るも逸りけり
- 。首一と振り見得切る様に鮎呑む鴉
- 。捨て篝シクと音たて闇戻す
- 。鴉飼果て闇に悲しき火の匂い

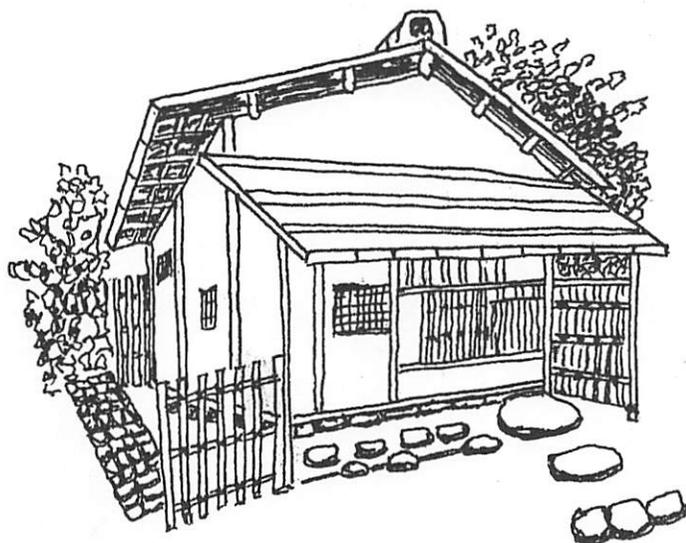
十七期(環境) 石橋 政雄

竹生島 賤が岳



- 。びしよ濡れの刈藻積み上ぐ湖港かな
- 。刈藻干す小さき港の船着場
- 。媪一人出船見送る夏の湖
- 。湖上より伊吹嶺けるか雲の峰
- 。瑞祥水含みて登る島晚夏
- 。かわらけを投げたる湖に舟涼し
- 。秋暑し川鴉のさげる竹生島
- 。余呉の湖見下ろす武者の像涼し
- 。余呉の湖舟ひとつなし蟬時雨
- 。賤が岳昔を知らぬ鴉の声

# 国宝待庵 (京都府)



佐治 正夫(16文)

## 編集後記:

◆生き生き熟年に投稿頂きました伊藤弘さんは、一見アンパンマンのようなふくよかで、きれいなお顔の方で、自転車に乗って颯爽と約束の場所に来て下さいました。伊藤秀雄さんは以前詩吟日本一になられた方で今も活躍されています。又、こじょう混声合唱団にも参加され、とてもお元気です◆9月5日は名古屋各地で防災訓練が行われましたが、この日、昼は激しい集中豪雨、夜は2度に渡って中規模の地震に見舞われました。防災意識は普段ついおろそかになりがちですが、奇しくも訓練の日の自然からの警告でした

## 訂正

前号のグラウンド・ゴルフクラブ便り(16ページ)の表2の中の7月16日の1位、9月3日と10月1日の2位の高瀬さんのお名前が間違っておりました。お詫びして訂正します。

誤: 高橋 みちよ

正: 高瀬 みちよ

昭和鯉城会会報「昭和こじょう会便り」37号

発行責任者: 境野 紘

編集委員長: 境野 紘

編集委員: 近藤 里美      松尾 純造

仲山 輝      可児島 英夫